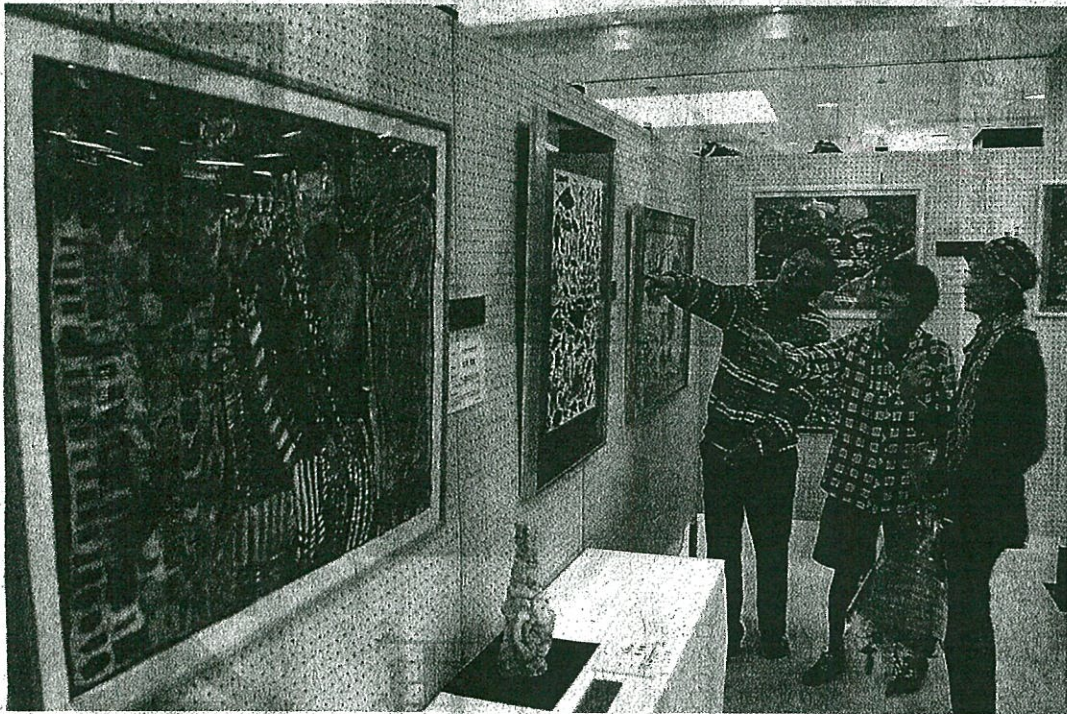


(第3種郵便物認可)

知的障害や発達障害のある人の独創的な作品が並ぶアール・ブリュット展ふくい
=14日、福井市のベル



県内障害者の絵、書、造形…

アール・ブリュットはフランス語で「生の芸術」を意味し、正規の美術教育を受けていない人たちの伝統的な文化や社会の流れにとらわれない作品を指す。作家は障害のある場合が多く、欧米では一つの分野として評価が確立して

県内の知的障害や発達障害がある人の絵画、書道、オブジェなどを一堂に集めた「第1回アール・ブリュット展ふくい」(福井新聞社後援)が14日、福井市のベルで始まった。自由な発想と視点から生み出された鮮やかな色使い、生き生きとした構図が訪れた人の目をくぎ付けにしていた。16日まで。

(西協和宏)

真っすぐな芸術 胸打つ

あすまで 福井で初作品展

徒らから作品を募り、105点が寄せられた。

県立美術館の芦川貞夫・美術専門員らが審査し、絵画は市川哲朗さん(25)・福井市、書道は岡部将大さん(16)・同、オブジェは明幸希さん(27)・敦賀市が、それぞれ最高賞の大賞に選ばれた。審査委員長を務めた芦川さんは「とても丁寧で素晴らしい作品ばかり。作ることが生きることと同じくらい自然で大切なものになってほしい」と講評した。同展では105点全てを紹介している。市川さんの「ハクナ・マタタ」はミュージカル

最新スノボずらり

福井きょうまで催し

スノーボード用品を一堂に集めた「ふくいスノーボードEXPO2016」(実行委、福井新聞社主催)が14日、福井市の県産業会館で始まった。新型モデルの板やブーツなど1万点以上の品がずらりと並び、若者や家族連れら約2千人でにぎわっていた。15日まで。

県探目

売り介

で生りはえ

富 井 新 局

北陸新幹線の敦賀以西ルートを議論する与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム(P.T.)の検討委員会メンバーが、14日までに固まったことが分かった。北陸3県、京都、大阪、滋賀の沿線議員と公明党議員で構成。11月中旬の国会再開へ、準備は整った。10月の内閣改造で、復興相の高木毅衆院議員や財務副大臣の岡田直樹参院議員(石川県)ら10人中5人が外れるため、調整していた。自民党関係者によると、委員長を務める京都府の西田昌司参院議員、事務局長で本県の滝波宏文参院議員、富山県の橋慶一郎衆院議員は留任。石川県は佐々木紀衆院議員、大阪府は中山泰秀衆院議員、滋賀県は上野賢一郎衆院議員が入る。公明党は3人のうち1人が交代。メンバーは1人減り9人になる。P.T.座長の福田明美・自民党政調会長は、福井新聞社の取材に対し「11月中旬に検討委を再開させたい」との考えを示しており、沿線議員による議論が加速するとみられる。敦賀以西ルートをめぐる

富山の並行在来線 新幹線で利用者増



あいの風とやま鉄道株式会社 井 三之助 市長講演 = 14日、福井市の市井社長が、現在の状況について講演した。

北陸新幹線金沢開業によって経営分離された富山県の第三セクター、あいの風とやま鉄道の市井正之社長が14日、福井市の県協ビルで講演した。市井社長は開業後の利用者数が伸びているとし「新幹線に乗って来た人や、新幹線に乗

るために利用する人が数字を押し上げている」と述べた。福井県並行在来線対策協議会が主催し、約70人が参加した。同鉄道の今年4～6月の1日当たり利用者数は4万3206人で、2011年度の利用率を7.5%程度上回っている。市井社長は「新幹線効果とみられる」と分析した。た

クラブの会員を募集したりしていることを紹介した。同社は石川県や新潟県の第三セクター鉄道との相互乗り入れもしている。会社をまとめた場合、初乗り運賃は二重になり割高になるため、会社間で乗り継ぎ割引を行っているとした。

2022年度末に北陸新幹線が敦賀まで開業すれば本県では石川県境から敦賀駅まで79.2キロが第三セクターになる。県は来年度以降、需要予測、収支予測調査を行い、開業2年前に、第三セクターが立ち上がる予定。(堀英彦)

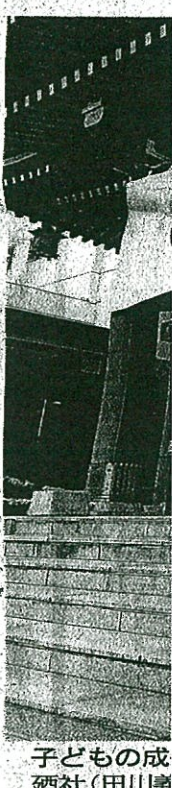
みんなであらう 読もう

県内の各神社では14日、子どもの健やかな成長を願う七五三参りの家族連れの姿が見られた。晴れ着姿の子どもたちがお父さんやお母さんに手を引かれ、少し照れくさそうに参拝していた。本来の参拝日とされる15日にかけて、参拝のピークになる見込み。

福井市大手3丁目の佐佳枝神社には、午前中から参拝の家族連れがひっきりなしに訪れた。神事を終えた後、境内では家族で記念写真を撮影したり、子どもの成長を願う絵馬を奉納したりしていた。鯖江市尾花町の土田正一さん(32)は、結婚式を挙げた思い出の場所に長女の志乃ちゃん(3)を連れて参拝し

「少し風邪をひきやすいため、けがや病気がないように育ててもらいたい」と話していた。七五三は、数え年で男子が3歳と5歳、女子が3歳と7歳を祝う行事。同社によると、近年は10～11月のいずれかの週末にお参りする分散傾向が見られるという。(桂知之)

元



子どもの成 酒社(田川) 達が学